

11月7日 都市消防委員会（田口一登議員・青木ともこ委員）

未着手都市計画道路の整備方針を見直し 住民の意見をきいて、すみやかな対応を

11月7日の都市消防委員会で、未着手都市計画道路の見直し方針案が示され、質疑が行われました。

人口減、老朽化による維持管理費の増大で

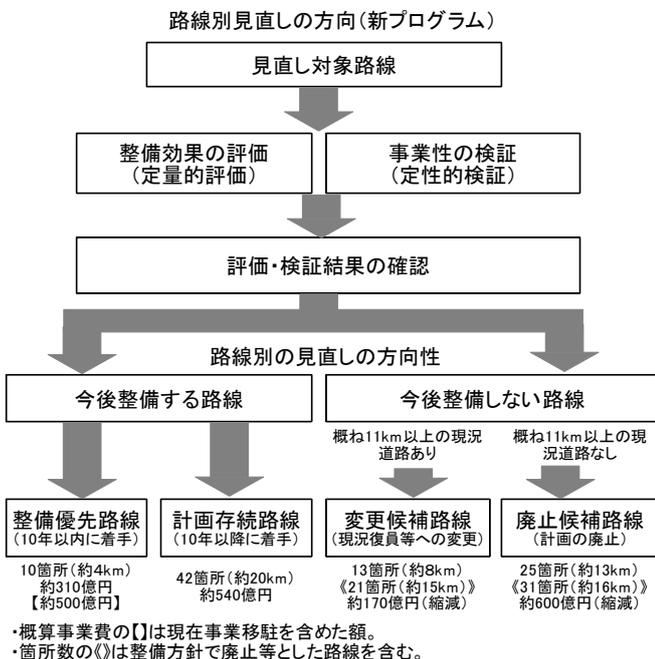
名古屋市内の都市計画道路は、現在841kmが都市計画決定され、うち764kmが整備済みです。2005年に都市計画道路整備プログラムが策定され見直しや効率的な整備が進められてきましたが、今でも55kmが未着手、うち48kmは50年間も経過しています。

見直しの理由として、社会情勢の変化を示し、人口



2005年の整備方針・プログラムに基づく進捗状況(2016年9月30日)

整備方針	2005年度策定		変更済み		
	箇所	延長	箇所	延長	
廃止等	計画の廃止	15	5.8km	11	3.8km
	現況復員に変更	19	18.0km	13	11.7km
	現況線形に変更	4	1.5km	2	0.2km
変更	車線数等の変更	3	4.1km	3	4.1km
	線形や構造等の変更	22	12.2km	2	0.5km
計	63	41.6km	31	20.3km	



減の予測の中で自動車交通量は横ばい、一方で施設が老朽化する中で維持管理費が増大、しかも長期にわたって建築制限を受ける住民がいることなどを掲げ、財政が厳しい中での選択と集中が必要ということでした。

山手植田線・八事天白溪線の道路計画は廃止へ

今回の「第2次整備プログラム」案では、「山手植田線」と「八事天白溪線」は「廃止候補路線」に分類され、「早期の都市計画の変更をめざす」とされました。田口議員は「廃止候補路線に分類されても、都市計画変更されずに長期に放置されるようなことがあってはならない。速やかに都市計画の変更を」と求めました。

名古屋市の代替措置について一体的・総合的に検討しています。田口議員が「都市計画の廃止を決定した後、代替措置については地元住民の意見も聞きながら検討を続けていけばよいのではないか」とただすと「都市計画変更は関係機関との調整が整ってから。どちらが先かは回答できない」と明言を避けました。

地元提案の代替措置は速やかに具体化を

八事天白溪線については、地元の町内会から、名城大学グラウンド北の道路に沿った八事裏川の上にデッキをかけて歩道を整備する、下池公園北の道路の狭い箇所を拡幅するといった代替措置が提案されています。田口議員は「地元住民が提案している代替措置については速やかに具体化するとともに、八事天白溪線の都市計画変更については山手植田線に先行して実施すべきだ」と求めました。

パブコメ後、来年3月に公表

自民党の議員からは、「これまで進めてきた意義ある計画を現場も見ないで廃止するのはおかしい」という意見も出されました。

12月から1月にかけてパブリックコメントが行われ、3月に策定・公表される予定です。

主な計画廃止候補にあがった路線

- 堀越枇杷島線(西区460m)
 - 北押切堀端線(西区590m)
 - 豊明水分橋線(北区800m)
 - 味鏡線(北区500m)
 - 中小田井味鏡線(西～北区530m)
 - 新堀川西線(熱田区210m)
 - 道徳北柴田線(南区570m)
 - 光音寺内田橋線(南～瑞穂区700m)
 - 高田町線(南区70m)
 - 笠寺線(南区740m)
 - 鳥羽見線(守山区490m)
 - 小栗橋線(一部・中川区430m)
 - 横井町五月通線(一部・中川区950m)
 - 山手植田線(昭和区760m)
 - 八事天白溪線(天白区990m)
 - 西大高線(緑区1060m)
 - 枯木上旭出線(緑区650m)
 - 深井岩井橋線(中川区60m)
 - 駅西線(中川区530m)
 - 鳥森線(中川区1090m)
 - 名古屋港線(港区730m)
- などなど